



地下水の使用の合理化に努めましょう！

なぜ地下水使用の合理化が必要なのでしょう

☆良質・安価で豊富な地下水は、重要な資源ですが、使いすぎてしまうと、地下水位の低下や地盤沈下の恐れも出てきます。このようなことを起こさないために、未然に防止していく必要があります。

工業用水の使用合理化

工業用水の使用合理化とは、事業所や生産工程の水の使用方法について改善を行うことでその作業に適した必要最小限の使用量に抑えることです。代表的な合理化手法としては以下の方法が挙げられます。合理化に際しては、水使用の実態とその特性を把握したうえで、導入の難易度を考慮し、自社の実状に合わせて、各種方法を組み合わせて行います。

水管理
の徹底

節水型機器
の使用

向流洗浄
方式の採用

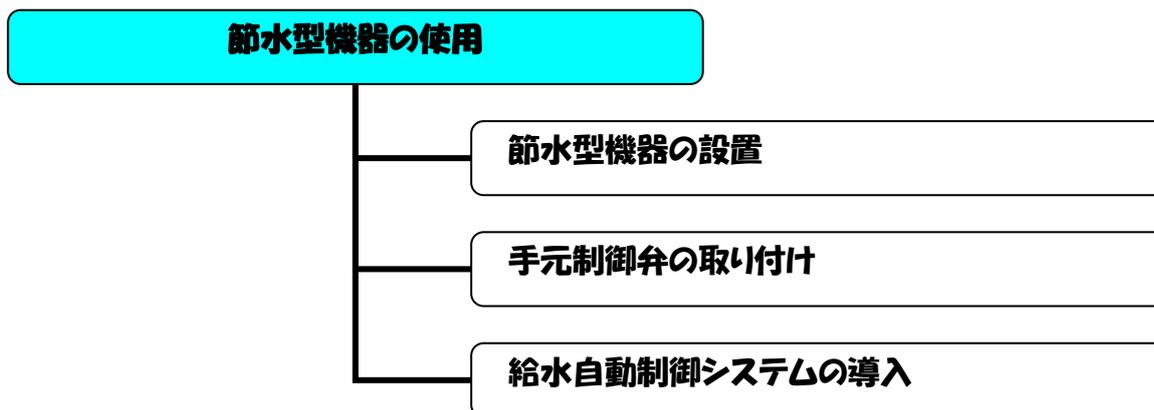
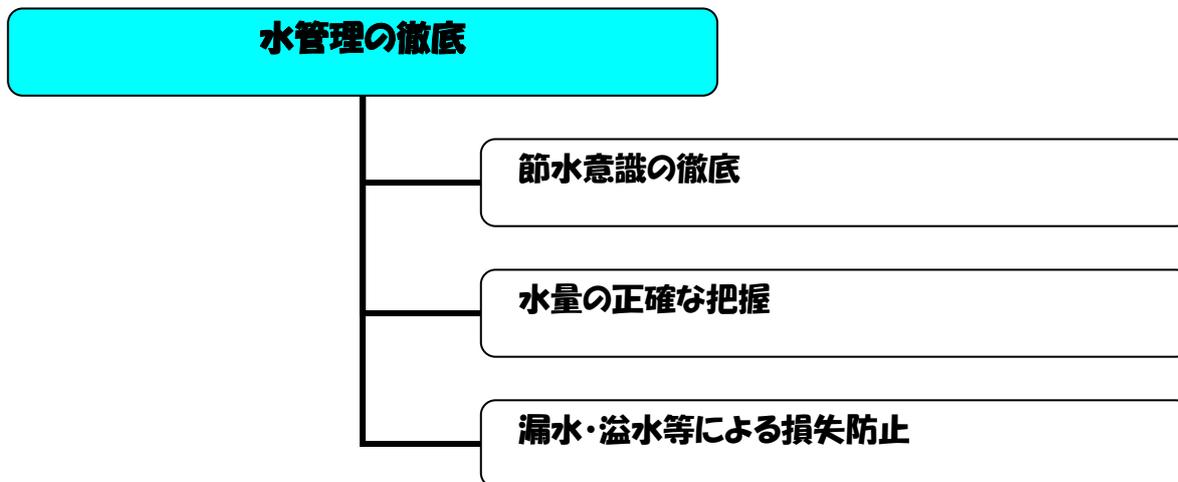
回收利用

再生利用

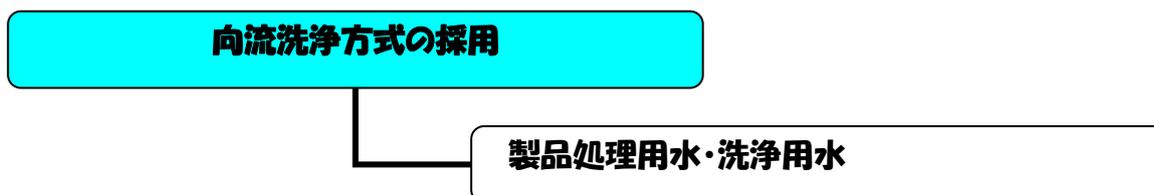
生産工程
の変更



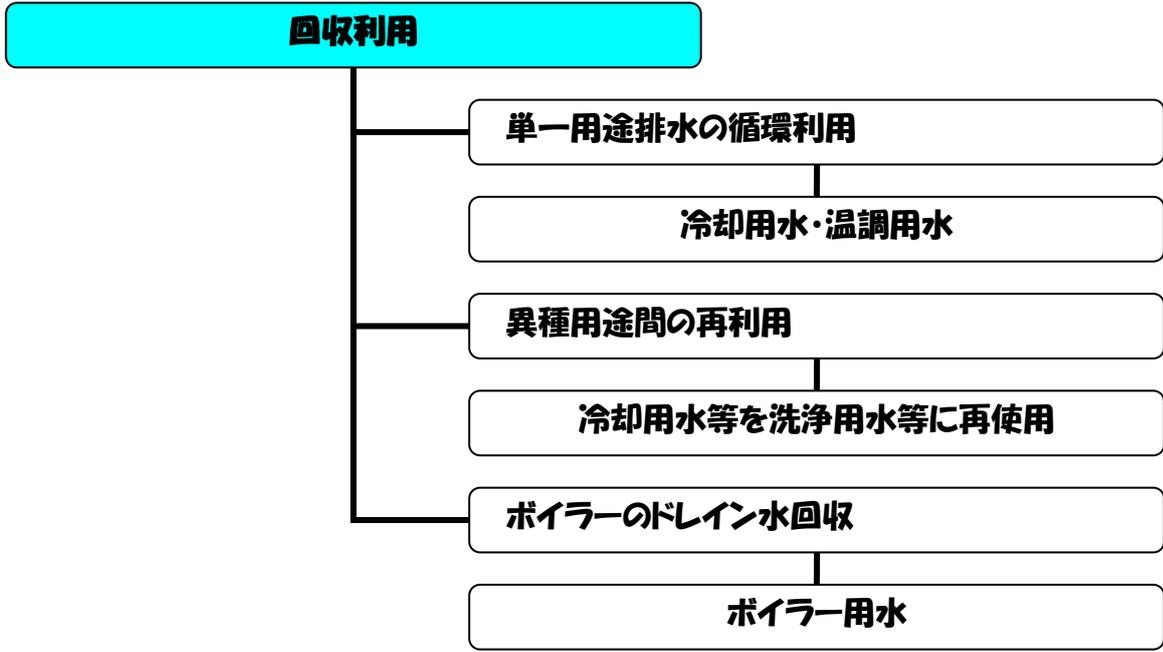
例えば



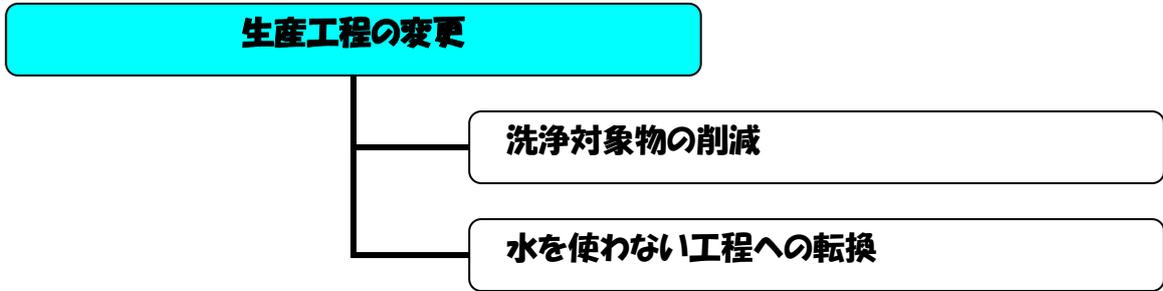
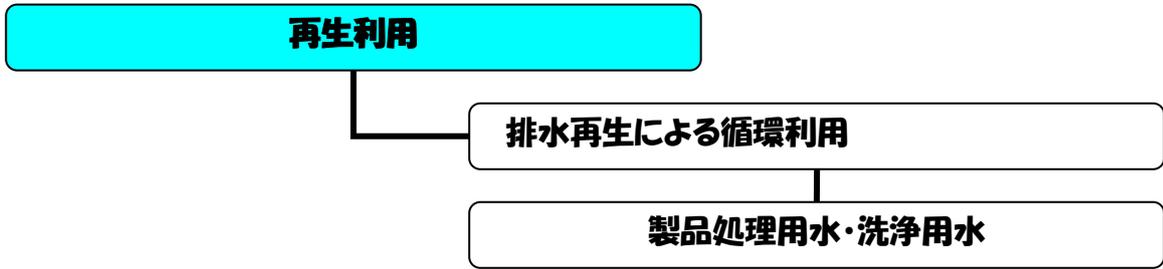
※ 手元制御弁とは、ホースなどで水を使用するとき、手元で吐水の量を制御する器具
⇒ 使用する水量をこまめに調節でき節水効果が期待できます。



※ 向流洗浄とは、洗浄する製品の流れと逆方向に洗浄用水を流す洗浄方法
⇒ 用水が再利用されるため、節水効果が期待できます。



※ ドレイン水とは、ボイラー蒸気が熱を失って凝縮した水
⇒ ドレイン水を回収して再利用することで、節水効果が期待できます。



具体的な合理化の方法

1. 工業用・用途別合理化

(1) ボイラー用水

①間接加熱に使用される蒸気ドレイン（復水）はできるかぎり回収し、循環使用に努めましょう。

(2) 製品処理・洗浄用水

①洗浄用水は、向流洗浄等を行うことにより節水に努めましょう。

②洗浄用水の使用箇所においては手元制御弁等の利用により節水に努めましょう。

(3) 冷却用水・温調用水

①冷却用水、温調用水は、循環使用に努めましょう。

(4) その他用水

①排水処理用水をその処理水で代替することなどにより節水に努めましょう。

②作業時間、使用目的に合わせた適正使用を図りましょう。

③手元制御弁、トイレの擬音装置など節水のための機器を用いて、無駄な水の削減を図りましょう。

(5) 全用途共通

①節水意識の高揚と用水の適正使用を図りましょう。

②流量計等により適正流量を把握して、用水管理に努めましょう。また、漏水対策、装置の保守管理を行い、適正水量を維持しましょう。

③不要時の井戸水揚水の停止、井戸ポンプのインバーター制御などにより、適正揚水量を維持しましょう。

※ インバーターとは、井戸ポンプ（モーター）を効率的に回転させる装置

2. 建築物用・用途別合理化

(1) トイレ用水

①小便器の洗浄はできるだけ自動洗浄方法に変更しましょう。

②手洗い用水に関しては、できるだけ節水型の自動洗浄方式を採用しましょう。

(2) 散水用水（庭木・芝生等）

①散水用水の使用箇所においては手元制御弁等の利用により節水に努めましょう。

②散水時間を設定するなどして、必要以上の散水をしないよう努めましょう。

(3) 清掃用水

①箒（ほうき）による清掃が可能な場所ではできるだけ箒ですませ、必要以上に水（水圧）による清掃は行わないようにしましょう。